

「出題の意図」

選抜区分	2024年度（選抜区分：一般前期） 外国語学部 全学科（科目名：英語）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>問題 1 【要約・論述】</p> <p>現代社会の状況、課題を記した文章を読み、単に内容を理解するに留まらず、そのトピックに対して自分の考えを持ち、それを日本語および英語において表現できる能力を持ち合わせているかを吟味する問題である。読解力と表現力の両方を評価する問題である。</p> <p>問 1 ・ 問 2</p> <p>この両問では、文章の骨格をなす内容についてきちんと読み取れ、それを有機的に理解できているかを吟味する。日本語で質問しているのは、英語表現力のレベルの違いによってそれらの能力を正確に診断できなくなる可能性を排除するためである。</p> <p>問 3 ・ 問 4</p> <p>この両問では、問題文の趣旨をじゅうぶんに理解していることを前提に、傾聴に値する意見をまとめ、それを英語で的確に表現できる能力を持ち合わせているかを吟味する。①何を根拠として、②どのような意見を主張しているか、その両面をきちんと押さえた解答が期待される。</p> <p>問題 2 【要約】</p> <p>英文の内容を正確に理解し、それを指定語数内の日本語で要約する問題である。要旨を正確に理解し、文章の流れを把握していくためには、ある程度の速読力が必要であり、速読しながら文章の重要なポイント、そのための根拠、反論、などの文章全体の構造を正しく理解できていなければならない。指定の語数も、重要な情報を押さえてまとめるのに過不足ない範囲で設定しているので、いったん下書きをして推敲して清書する、といった必要はないはずである。普段から速読力を伸ばすための練習を行なうことを勧めたい。</p> <p>問題 3 【和文英訳】</p> <p>下線部の英訳を求める問題であるが、前後の文脈を無視してそこだけを一語一句正確に英訳しようとしたのでは、良い英文への訳出はできない。前後の文章をよく読み、その文章の流れに応じた英訳ができているかどうかを吟味している。文法的に正確な英文を作成できることは必要条件ではあっても、十分条件とは言えない。文章のニュアンスを正確に理解し、その上で翻訳家になったつもりで挑戦してもらおうと、良い答案ができ</p>

るはずである。

問題 4 【和文英訳】

問題 3 と同趣旨の問題である。前後の文脈を無視してそこだけを一語一句正確に英訳しようとしたのでは、良い英文への訳出はできない。前後の文章をよく読み、その文章の流れに応じた英訳ができているかどうかを吟味している。文法的に正確な英文を作成することは必要条件ではあっても、十分条件とは言えない。文章のニュアンスを正確に理解し、その上で翻訳家になったつもりで挑戦してもらおうと、良い答案ができるはずである。

問題 5 【英語表現力】

この問題の趣旨は、受験者の英語力を見ようとするものではない。むしろ、読み手に強い印象を与えられる独創的でユニークな意見を伝えようとしているかどうかの評価のポイントである。もちろん、文意を理解できないほど文法的に崩れた文章では困るが、細かな文法的なミスがあっても、全体として傾聴に値する独自性を持った考えがまとめられていれば、良い評価を受けることが出来るはずである。普段から英語で自分の考えをまとめる練習をよく行なっておくことが、このタイプの試験のための良い準備になると思われる。